

六甲ケーブル

世界でも珍しい2両連結

1932年(昭和7年)3月10日開業の六甲ケーブルは、今年で88周年を迎えた。現在の車両は3代目。六甲ケーブル下駅から六甲山上駅まで五つのトンネルを通って、約1.7キロ、高低差493.3㍍を約10分間で結ぶ。まさに六甲山の玄関口として役割を果たしている。

車両は、赤色の「クラシックタイプ」と緑色の「レトロタイプ」の2編成。山上側の箱形車と山下側の展望車という、世界でも珍しい2両連結で運転している。

展望車は座席と床面に天然木を使用し、屋根をガラス張りにした珍しい造り。窓ガラスがないため爽やかな秋の空気を肌で感じることができる。

10月下旬から11月にかけてのケーブル沿線では街よりも早く紅葉がスタート。木々たちが色づき始め、秋晴れの澄んだ青空とともに楽しめる。イロハカエデやウリハダカエデ、ヤマモミジ、ヤマザクラ、イチョウなどの葉が、赤や黄色、オレンジ色に染まり沿線を鮮

くに10月付近はケーブルカーラインで、同じ黄色いエンブレムと一緒に写っているオリジナル缶バッジ。



やかに彩る。

開業88周年を迎える(縁起の良い末広がり)、7月から9月の土日祝限定で、先着88名にオリジナル缶バッジを配布していた。

缶バッジの色は7月は赤、8月は緑、9月は茶と月ごとに変えた。中には缶バッジを目当てにした人もいるなど好評のため、10月はケーブルカーに付けているエンブレムと同色の黄にした。11月は秘密だ。

11月23日まで「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2020」が六甲山上を中心を開かれており、六甲ケーブル下駅と六甲山上駅にも作品がある。

六甲ケーブルに乗車した後、山上バスや徒歩にてアート作品を鑑賞する人は多い。この季節、秋の紅葉とアート作品を散策がてら見て回るのもいいかも! 六甲ケーブル下駅 078-861-5288



六甲高山植物園

幻想的に紅葉ライトアップ

海拔865㍍、六甲山の山頂付近に位置する六甲高山植物園(神戸市灘区)では市街地よりも1ヶ月ほど早く、10月下旬から木々がきれいに色づき始める。この時期に合わせて、同園は「夜の紅葉散策」と「ザ・ナイトミュージアム~夜の芸術散歩~」を同時開催している。

「夜の紅葉散策」では、赤や黄、オレンジなどさまざまな紅葉をライトアップ。昼間とは違う幻想的



赤や黄、オレンジなどさまざまの紅葉をライトアップした「夜の紅葉散策」

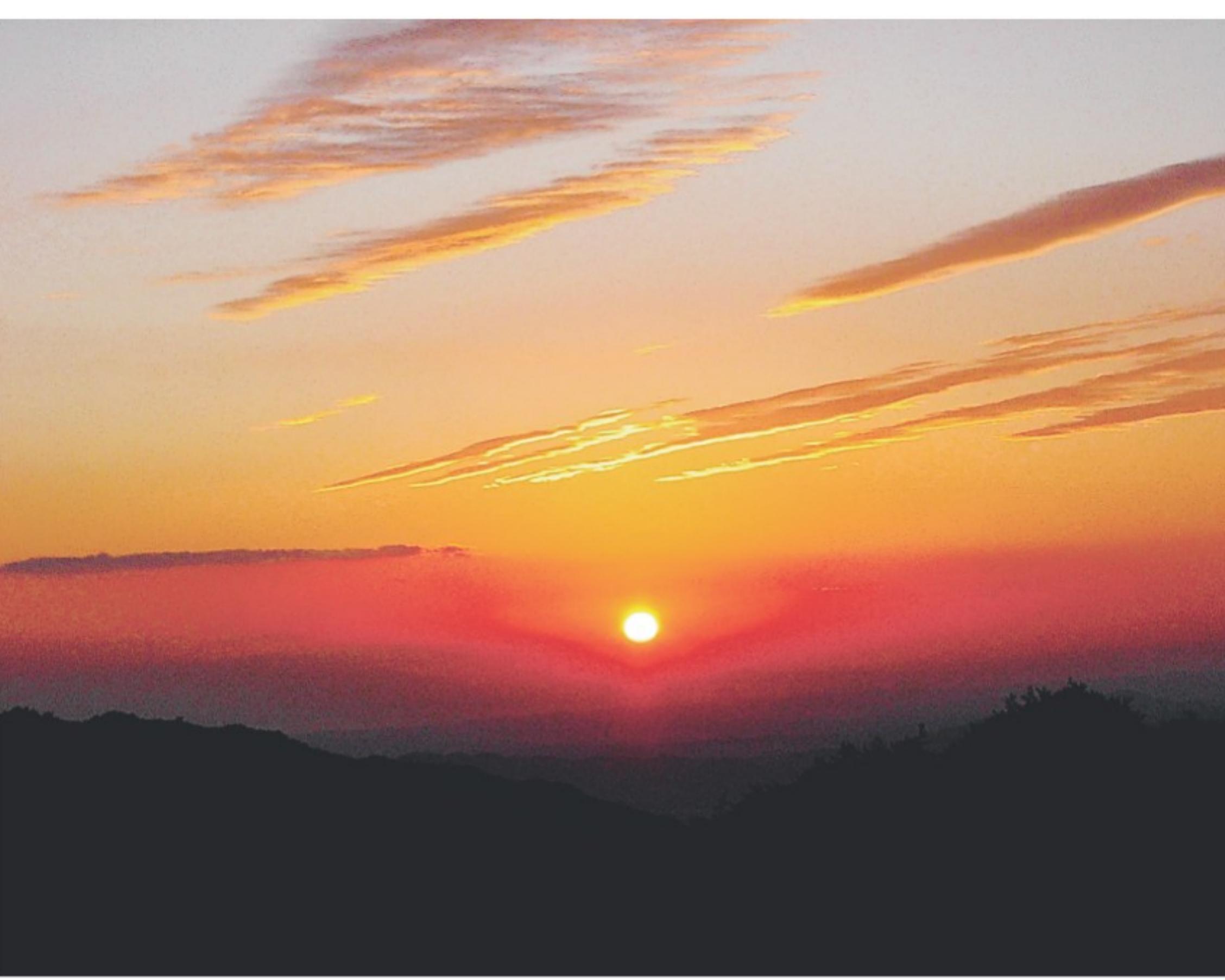
な雰囲気を全身で感じることができる。土日祝日は、同園スタッフが無料で紅葉をガイドし、夜の植物園と紅葉の魅力を伝える。

「ザ・ナイトミュージアム」は、六甲山上を中心に開催中の「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2020」で展示している現代アート作品のライトアップに加え、夜限定の作品も楽しめる。

園内には、あったかフードやドリンクを販売するキッチンカーやカフェも併設。散歩しながら「食欲の秋」も堪能できる。

11月23日まで営業。11月24日から冬季休園。 078-891-1247

赤や黄、オレンジなどさまざまの紅葉をライトアップした「夜の紅葉散策」



六甲有馬ロープウェーから沈む夕日を望む(一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社提供)



六甲有馬ロープウェーから沈む夕日を望む(一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社提供)
紅葉谷道上部の登山道脇には六甲アーティストによる「紅葉アート」が点在。11月ごろ明るい黄色に黄葉する(2019年11月撮影)

夕日に夜景に
秋の夜長満喫

2014年の台風で登山道脇の斜面が崩れ、長らく通行止めとなっていた「紅葉谷道」下部が10月、開通した。追加工事が必要な箇所が発生し、再度閉鎖されるとなる可能性もあるということだが、紅葉シーズンの間は通行できそうだ。

六甲ガーデンテラス付近から有馬温泉へ続くこの道は、希少な六甲アーティストが点在するほか、色々とりどりに紅葉する広葉樹が多い。ハイカーに人気の高い秋の定番コースとなっている。この谷筋を見下ろしながら進むのが「六甲有馬ロープウェー」で、上空からの風景も素晴らしい。片道をハイキング、片道を

走るハイキング、片道を走るハイキングなど、どちらか選んで楽しめる。馬鹿の波のように広がる六甲の山並みのかなたに沈んでゆく夕日には、西方淨土を思わせる荘厳さがある。夜のとおりが下りてくると、神戸の西側から播州平野にかけての街明かりがき

晴れた日には播磨灘まで見渡せる雄大な眺望が自慢の六甲有馬ロープウェーから眺める、夕景や夜景も見えます十分だ。

10月下旬の日没時間は午後5時すぎ。平日は最終便が午後5時10分発で、ちょうどワイヤータイムとなる。11月23日までの金土日曜・祝日は午後9時半まで延長運行。夜景が山上から下り、ロープウェーからの両方で楽しめる。

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第4火曜日に掲載します)



「空中散歩」と両方楽しむのもいいだろう。

「六甲山からの夜景」といえば、掬星台、天覧台、六甲ガーデンテラスなど、海側の眺望が開けたスポットが有名だが、それだけではない。

晴れた日には播磨灘まで見渡せる雄大な眺望が自慢の六甲有馬ロープウェーから眺める、夕景や夜景も見えます十分だ。

10月下旬の日没時間は午後5時すぎ。平日は最終便が午後5時10分発で、ちょうどワイヤータイムとなる。11月23日までの金土日曜・祝日は午後9時半まで延長運行。夜景が山上から下り、ロープウェーからの両方で楽しめる。

10月下旬の日没時間は午後5時すぎ。平日は最終便が午後5時10分発で、ちょうどワイヤータイムとなる。11月23日までの金土日曜・祝日は午後9時半まで延長運行。夜景が山上から下り、ロープウェーからの両方で楽しめる。

10月下旬の日没時間は午後5時すぎ。平日は最終便が午後5時10分発で、ちょうどワイヤータイムとなる。11月23日までの金土日曜・祝日は午後9時半まで延長運行。夜景が山上から下り、ロープウェーからの両方で楽しめる。

10月下旬の日没時間は午後5時すぎ。平日は最終便が午後5時10分発で、ちょうどワイヤータイムとなる。11月23日までの金土日曜・祝日は午後9時半まで延長運行。夜景が山上から下り、ロープウェーからの両方で楽しめる。

10月下旬の日没時間は午後5時すぎ。平日は最終便が午後5時10分発で、ちょうどワイヤータイムとなる。11月23日までの金土日曜・祝日は午後9時半まで延長運行。夜景が山上から下り、ロープウェーからの両方で楽しめる。

10月下旬の日没時間は午後5時すぎ。平日は最終便が午後5時10分発で、ちょうどワイヤータイムとなる。11月23日までの金土日曜・祝日は午後9時半まで延長運行。夜景が山上から下り、ロープウェーからの両方で楽しめる。

10月下旬の日没時間は午後5時すぎ。平日は最終便が午後5時10分発で、ちょうどワイヤータイムとなる。11月23日までの金土日曜・祝日は午後9時半まで延長運行。夜景が山上から下り、ロープウェーからの両方で楽しめる。

10月下旬の日没時間は午後5時すぎ。平日は最終便が午後5時10分発で、ちょうどワイヤータイムとなる。11月23日までの金土日曜・祝日は午後9時半まで延長運行。夜景が山上から下り、ロープウェーからの両方で楽しめる。



◆六甲山光のアート「Lightscape in Rokko」秋バージョン「秋は夕暮れ」 11月30日まで、17~21時(受け付けは20時半まで)、自然体感展望台・六甲枝垂れ(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」)。芸術散歩2020のサテライト展示が有馬温泉で行われている。夜は「有馬アートナイト」と銘打ち、作品のライトアップで楽しむ。夜は「有馬温泉観光総合会議」で開催される「有馬温泉で温泉を光と色彩で浮かび上がる演出なども行なわれる。

◆摩耶山の森を感じるプログラム 自然とともに楽しむワークショップ「作品展示」 11月14日10~16時、15日10~15時、灘区民ホール(JR「摩耶」駅から徒歩約10分)。「森と対話する」ことを目的にしたプログラム。10月18日に摩耶山で開催された「自然とともに楽しむワークショップ『森の色遊び』」で制作された作品を展示する。無料。六甲山と市民のネットワーク 090-3706-3892

◆秋の天然素材で作る一森の手づくり体験 11月23日まで、10時~16時半(16時受け付け終了)、六甲山植物園・ショッピングアルピコラ(六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「六甲植物園」)。園内で採れた木の実やアジサイのドライフラワーなどを使って、世界に一つだけのオリジナルリースを作る。所要時間は約30分。道具や材料は園が用意。650円から(別途入園料、中学生以上700円、4歳~小学生350円)。随時受け付け(最大12席)。同園 078-891-1247

◆摩耶山リュックサックマーケット 11月21日11~16時、摩耶山

◆六甲ミーツ・アート 芸術散歩2020有馬サテライトの木村剛士氏作品。古いテニスコートがまるで温泉のように見え、不思議な世界が広がる。

◆掬星台(摩耶ロープウェー「星の駅」すぐ)。リュック一つあれば、誰でも参加できるフリーマーケット=写真。聞かなくなったCD、読んでしまった本、自分で描いた絵、着なくなった服などを持参して、当日受け付けすれば出品できる(ただし、食品関係は3週間前に事前申し込み)。出店料無料。荒天中止。monte702 078-882-3580

◆催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/



わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています

協賛企業



六甲山大学・情報凝縮サイト
653daigaku.com

TAKENAKA